



izumi NEWS

学校法人 和泉短期大学

Vol.21
(2014年6月)



2014年度聖句

「隣人を自分のように
愛しなさい。」
(マタイによる福音書 第22章 39節)

facebookページ開設中! 『いいね!』を押してください。

和泉短期大学近辺の交差点名が「和泉短大入口」になりました

izumi NEWS Vol.21

和泉短期大学 広報渉外ユニット

発行責任者 理事長 深町 正信

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1
TEL.042-754-1133 (代表)
URL.http://www.izumi-c.ac.jp

— 目次 — CONTENTS

特集 神様からのメッセージ 学長-佐藤 守男 2

izumi TOPIC ●永年勤続表彰 6
●新入生の言葉 6
●和泉の近況報告 7



神様からのメッセージ

和泉短期大学(第八代学長)
学長 佐藤 守男

今年度より、学校法人和泉短期大学の第八代目の学長に就任致しました佐藤守男です。どうぞよろしくお願ひ致します。

和泉短期大学は2014年に58周年を迎えます。半世紀以上の間、福祉や保育の分野で活躍し、その伝統は輝かしいものがあります。また、和泉短期大学の歴史と私の年齢とが偶然にも重なり、縁の深いものを感じています。

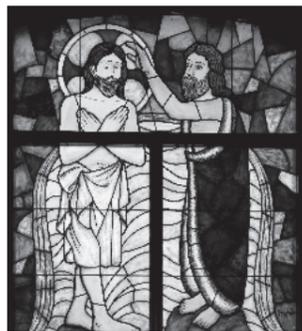
それでは、自己紹介を兼ねて、私の話をひとつ紹介したいと思います。私の両親は東京の下町で工場を経営し、朝早くから夜遅くまで、働いていました。周りには子どもは少なく、私はほとんど一人で田んぼや野原で遊んでいることが多かったと記憶しています。そんな環境にあったせいでしょうか、私は小さいころから“画家”や“もの作りの職人”になりたいと思っていました。

小学校に入学してからも両親から勉強するように言われた記憶がなく、読み書き、計算など興味もなければ当然成績もよくありませんでした。それから中学、高校と進学し、高校3年生の夏休みに体調を崩します。卒業を目の前にして大学病院での検査入院となり、そのまま検査が長引き、高校の卒業式は出られませんでした。そして、その年の8月に父が急死し、そのショックで再入院となり、24時間点滴を付け、起床から就寝までテレビを見て過ごしました。数か月もすると、身体を起こすこともできなくなり、寝たきりの状態になっていました。

そんな中、友人から、1通の手紙をもらいます。“つらくなったら電話して来いよ”の短い手紙で、そこには北海道大学の恵迪寮の電話番号が書いてありました。19歳にしてすでに私は生きることへの希望を持ってませんでしたから、そのまま生きていても、多分“引きこもり”の生活をしていたと思います。しかし、友人からもらったこの手紙が自分を見つめなおす機会を与え、生きる勇気をくれました。

牢屋のような病院の生活から解放されたいと思い、母に手術を受けたいという話をしました。病院は私の手術を大変危険なものと考えていたようでした。

術後、その友人を頼って家を出ます。しばらくアルバイトをしながら目標のない生活をしている私を見かねて、“学校の先生なら今からでも成れるから”と言われ、北海道の教育大学に進み、その後、愛知の芸大で彫刻を本格的に学ぶことになります。



さて、この話の真のメッセージはなんだったのでしょうか。神様が、病の床にあった私を選び、そして、使命を果たすよう私に呼び掛け、私を和泉に派遣したのです。

私は、仕事は“ジョブ”ではなく“キャリア”でもなく“コーリング(神の召命)”だと思っています。私はある使命を果たすよう神から呼びかけられているのです。皆さんも若い時にあなたの創造主、神様の存在を知るべきです。聖書では次のように言っています。『青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。苦しみの日々が来ないうちに。』(コヘレトの言葉12章1節)

ところで、私は若い人が進路に迷っているとき、こう言っています。まず、一番やりたいことを今やるべきです。それはわがままなことですが、そうしないと後になって“私は本当は・・・になりたかった”と思いつけるでしょう。そして、チャレンジしてみて自分に可能性がないことを知るのも大切なことなのです。努力したからといってすべてのことが成就するとは限らないからです。自分がその道に向いていないことに納得できれば、別の道で花を咲かせることもあるでしょう。

皆さんの中には周りの人から保育者になることを勧められて和泉短期大学に入学した人もいます。しかし、皆さんが和泉にいることは本当は奇跡なのです。それはあなたが和泉を選んだのではなく、神様があなたを選び、祝福してくださっているのです。ですから、和泉に馴染めないからと言って、すぐに諦めないでください。卒業まで頑張り、改めて自分の望む人生にチャレンジすることをお勧めします。聖書でも『何によらず手を付けたことは熱心にするがよい』(コヘレトの言葉9章10節)と言っています。

保育士、幼稚園教諭、介護福祉士の免許資格は生きていく上で必ずあなたを助けてくれます。勉強するにはお金がかかるのですが、後に何倍にもなって返ってきます。自分を信じてください。自分を大切にしてください。そして、自分に投資してみてください。そうすれば、きっとあなたも輝くでしょう。

皆さんの人生には神様からの大切な使命が託されているのです。私は和泉短期大学の学長として、皆さんのお役に立ちたいと思っています。

第48回卒業証書・学位記授与式、第4回修了証書授与式

児童福祉学科256名と専攻科介護福祉専攻19名が和泉短期大学を旅立ちました



3月14日(金)、和泉クラーク・ホールにおいて和泉短期大学第48回卒業証書・学位記授与式、並びに専攻科介護福祉専攻第3回修了証書授与式が挙行されました。パイプオルガンの荘厳な音色とともに幕を開け、讚美歌斉唱、聖書朗読、祈祷、ハンドベル・クワイアによる讚美と続きました。

グループアドバイザーから卒業生・修了生一人ひとり名前が呼ばれ、伊藤学長より「卒業証書・学位記」が卒業生代表、「修了証書」が専攻科修了生代表に手渡されました。表彰、学長の告辞、深町理事長の祝辞、山田同窓会会長の祝辞が述べられ、在学生代表による送辞、卒業生代表による答辞と進むうちに、卒業生だけではなくご家族の皆様や教職員一同感無量になり、頬を涙が伝うようになってきました。最後に校歌と讚美歌を斉唱して感動の卒業式が終了しました。記念写真撮影後、最後のグループミーティングが行われ、共に研鑽し合った仲間たちと別れのひとときを過ごしました。

卒業生・修了生の皆さんが、和泉短期大学での学びと思いを糧に社会で活躍されることをお祈りいたします。そして、卒業後もお気軽に母校にお立ち寄り下さい。和泉短期大学はいつでも、皆さんが訪れてくださるのをお待ちしております。

2013年度 卒業証書並びに修了証書授与式 告示

チャプレン 伊藤 忠彦(第七代学長)

和泉短期大学児童福祉学科の所定の学びを終え「短期大学士」の学位を授与された256名の皆さん、並びに、専攻科介護福祉士専攻の修了証書を授与された19名の皆さんに、心よりお祝い申し上げます。また、この式にご列席くださいました保護者の皆様は心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。また、ご列席くださいましたご来賓の皆様には深くお礼を申し上げます。

皆さんは、卒業証書、並びに修了証書を授与され、目指してこられた目的を、立派に成し遂げられました。しかし、この目標達成の瞬間である、この卒業は、皆さんにとって、新しい、しかも、目標の全貌がはっきりとは見えない、人生へのスタート地点に立たされている時でもあるのです。

このように新たな人生のスタート地点におられる皆さんは、和泉での学びと学生生活を通して、福祉の知識と技術、また、なによりも、その精神を学ばれてこられました。この皆さんに、本学の創立に深く関わった、カルビット・クラーク先生の人生にあった重要なエピソードをご紹介します。私達には、自分のしたいことに向かって歩む人生だけでなく、求められていることに応える、応じる、また挑戦する人生、歩みがあると言うことを申し上げたいと思います。そして、皆さんには、このことを心に留めて、新しい歩みへと踏み出していってほしいと思います。

和泉の創立30年誌、また50年誌にも記されているエピソードです。1938年、いまから76年前のことですが、アメリカのある町の街角で、二人の牧師、クラーク先生と、シンガポールで、教育にたずさわっていた牧師・宣教師が久しぶりに、出会ったのです。立ち話だったのでしょうか。話題が当時の、戦争と経済的不況で悲惨な状況にあった中国の子どもたちに及んだ時に、クラーク先生は「幼い子供が食べるものがなく、死んで行くのは本当にかわいそうです」とおっしゃったそうです。すると、中国か

ら一時帰国していた牧師が「そうです、こんなに悲惨なことはありません。先生にはこのことのためにできることがあるのでは」と言います。クラーク先生は「わかりました、わたしがいたしましよ」と言われたと言うのです。

こうして、クラーク先生によって始められたCCF「キリスト教児童福祉会」は、その後、日本を含む世界50カ国を越えた国々に、支援を必要とする子供たちのための施設を500以上設立、また援助し、本学は、このCCFの下で建てられた唯一の保育者養護学校として、58年前に設立された学校なのです。

この会場の入り口ホールの壁に、この設立母体である、CCFの設立者クラーク先生のレリーフ(浮彫の胸像)と旗が掛けられています。

私達は、このクラーク先生の歩みを通して「私達には求められていることに、応える、また挑戦する人生がある」と言うことを教えられてきたのです。

皆さんの前途には、あるいは人生には、「自分のしたいことを目指す人生があると共に、職場や、社会から、また神様から求められ、それらに代えてゆく、挑戦してゆく、歩み、人生があるのです。

最後に、この卒業式の最後に、ご一緒に歌う讚美歌405番の冒頭で、「神ともにいまして、行く道を守り、力を与えませ」と歌われ、また繰り返し「また会う日まで、また会う日まで、神の守り、汝が(あなたの)身を離れざれ」と歌われます。この歌に、和泉短期大学にある私たち教職員の、皆さんへの願い、思いが込められていると申し上げ、告辞といたします。



ご在天の父なる御神

宗教部長 櫻井 奈津子

本日ここに児童福祉学科256名、専攻科19名が、本学での学びを終えて、卒業・修了いたします。あなたが常に私たちと共にあって、学生たちの2年間あるいは1年間の学びをお支え下さり、教職員の働きの上にお力を賜りましたことを、深く感謝申し上げます。

4月から社会人として、保育・福祉の現場に立つ者、また更に学びを続ける者、卒業・修了生の進路は様々ですが、どうぞこれからも、あなたの大きなお恵みとお導きによって、この若者たちがそれぞれにいただいた「たまもの」を活かし、あなたの御心にかなう働き人となりますよう、お護りください。

2年間・1年間の学びの中では、私たち教職員は決して十分なことをなしたわけではありません。伝えきれなかったこと、もっと伝えたいことがあります。その一方で、学生たちが学内での学びや、学外での実習・ボランティア活動を経験し成長していく姿に、力強さを感じ、励まされることも多くありました。あなたが学生たちの学び・成長を支えてくださったことに、深く感謝致します。

今ここを巣立っていく学生たちにとって、これからも厳しい社会の現実を前に、迷い悩むことがたくさんあるでしょう。「さあこれからは自分の足で歩くのですよ」と押し出されて不安を感じてい

る者もいるでしょう。子どもの育ち・家族の子育て・支援を必要とする人々の生活に寄り添う専門家となることは、そうそうたやすいことではありません。これから先、何度も失敗や挫折感を味わうことがあるかもしれません。

主よ、どうかその時には、困難に立ち向かい、めざすべき正しい道に向かって歩み続けることができるよう、この若者たちを導き・励まし、お護りください。

悩みや困難な状況にあるとき、和泉で学び、友人たちと経験したことや、教職員から受けた言葉が、少しでも心の糧となり、卒業・修了しても、あなたを通して私たちが繋がっていること、あなたがいつも共におられることを感じて、歩んでいけるように、この若者たちをお導きください。

これらの感謝と願い、御子イエスキリストの御名を通してお捧げいたします。



アーメン

2013年度卒業生 表彰者の声

眞鍋記念特別奨学生

大石 さちこ



この度は、眞鍋記念特別奨学生として歴史ある素晴らしい賞を頂きまして、誠にありがとうございました。家庭があり子どもがいる主婦が、10代の若者と共に学生生活を送ることは容易な事ではありませんでしたが、同じ志を持つ仲間と様々な視点から保育の奥深さを教えて下さった先生方、何より家族のおかげで無事に卒業を迎える事が出来ました。心より感謝申し上げます。

今後は、和泉短期大学で学んだ多くの事を保育の現場で活かし、保育者として成長し続けられるよう努力致します。



利田 未樹
私が和泉短期大学で過ごした二年間は、本当に充実した日々でした。一度社会人として働いていた私にとって、改めて夢に向かって学ぶことは本当に楽しく、新しい仲間との出会いに多くの刺激を受けながら、共に成長することができました。仲間との思い出は一生の宝物です。

今年度の眞鍋記念奨学金の特別奨学生として選んでいただいたことを嬉しく思います。これも熱心に教えてくださった先生方、いつも支えてくれた職員の方々、そして、一番近くで暖かく見守ってくれた家族の力があつたからこそだと思います。心より感謝致します。

これから、和泉で培った知識と経験を活かし、沢山の方々と出会いを大切にしながら、理想とする保育者に近づけるようより一層努力していきたいと思ひます。

讃岐和家記念賞

ほか、大石 さちこ、利田 未樹

市成 翔子



私が和泉を卒業して1ヶ月が経ちました。新しい環境に戸惑うこともあります、そんな時に思ひ出すのは和泉での2年間です。同じ時間を過ごした仲間、様々なことを教えて下さった先生方、学友会の皆や事務の方々、こうして振り返ると本当に沢山の人に支えられた2年間でした。一人では乗り越えられなかったことも、皆様の支えがあったから乗り越えられました。

今回このような素晴らしい賞を頂いたのも、私一人の力ではありません。周りの方への感謝の気持ちを忘れず、これからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。



半田 理恵
私は和泉短期大学での2年間を振り返ると、子育てしながら勉強や実習ができるのかと不安でしたが、家族や友人、グループ仲間、ハンドベル仲間、教職員の皆様の支えや励ましによって、家庭と勉強の両立が出来ました。心から感謝しております。

そして特に、学校内で「アラサー」と呼ばれていた友人達が自分を一番支え、励ましてくれました。嬉しい時も辛い時も皆で分かち合えたからこそ、この讃岐和家記念賞を受賞することができたのだと思います。

和泉短期大学で毎日充実して過ごせて本当に良かったです。ありがとうございました。

中島武夫記念賞

小浦 泉



この度は中島武夫記念賞をいただき、ありがとうございます。最初に聞いた時は「なぜ私なのだろう」と思いましたが、今となっては、この賞は、私の誇りであり、財産です。

私が和泉で学ぶ中で出会った友人、支えてくれた家族、教職員の皆さまには本当に感謝しています。

これから先も周りの人への感謝を忘れることなく進んでいきたいと思っています。

また、和泉と同じようにキリスト教主義に基づいた保育園で働く機会が与えられていることでも嬉しく思います。

「愛と奉仕」の精神を大切に和泉の卒業生として恥ずかしくないような立派な保育者になりたいと思っています。

日本介護福祉士養成施設協会表彰

棚澤 菜帆



専攻科での1年間は本当にあっという間でした。短い期間でしたが介護技術や介護福祉について多くの事を学びました。

高齢者施設での実習では介護の難しさや、利用者の方との関わりで様々な壁にぶつかる事もありました。そんな時に支えてくれたのは先生方や友人でした。先生方の助言や、共に学ぶ仲間たちからの励ましが、実習を終え、充実した日々を過ごす事が出来たのだと思います。

本当に心から感謝しています。これからも、感謝の気持ちを忘れず、和泉短期大学で学んだ事を活かし、介護福祉士として日々精進して参りたいと思っています。

第50回児童福祉学科、第5回専攻科介護福祉専攻入学式

4月1日(火)、和泉クラーク・ホールにおいて2014年度の入学式を挙行しました。

当日は、多くの保護者のご参列をいただき、児童福祉学科に267名の新入生を迎え、専攻科 介護福祉専攻には、24名の保育士資格取得者が入学しました。

式は、学長告辞、理事長の祝辞と続き、パイプオルガンの壮麗な音色を奏でました。

学生聖歌隊とハンドベル・クワイアの清らかな音色の讃美により進行していきまし。入学式後、グループ・アドバイザーをはじめとした専任教員の紹介が学長より行われました。

新入生は記念写真撮影後、グループ毎に集まって、自己紹介をし、これから始まる学生生活の夢を語り合いました。新入生が良き保育者、介護者に成長することを願っています。



2014年度 新入生研修会

4月2日(水)に和泉クラーク・ホールで「新入生研修会」を開催しました。

第1部は「レクチャー礼拝」。これから始まる学園生活に大切な礼拝について、お話しを聞きながらお捧げるレクチャー礼拝が行われました。

第2部は「講演会」テーマ ～バイブルの中の美女、悪女?～ シンガーソングライター久保田早紀さんとして活躍され、現在はプロテスタント教会で「音楽伝道者」として活動されている久米小百合さんによる講演がありました。

久米さんは、聖書について「苦しいとき、悲しいとき、悩んだときに「聖書」が私を助け勇気づけてくれた…」と話されたのが心に残ります。

講演の中で賛美いただいた優しく&深い思いが込められた歌声に、新入生は大きな感動を味わっていました。

講演の最後に久米さんが新入生に届けてくださった聖書の一節です。「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」

(マタイによる福音書 第6章25節)



父母会役員の皆様、ありがとうございました

2014年3月14日(金)卒業証書・学位記授与式、修了証書授与式終了後、2年間父母会役員としてご尽力いただいた2年生の父母会役員の皆様、伊藤学長から感謝の意をお伝えし書籍「主われを愛す」ものがたりを贈呈しました。



2年間、父母会役員として学園祭、会報発行、入学式・卒業式とご尽力いただきありがとうございました。お子様が卒業された後も和泉短期大学をご支援くださいますようお願い致します。

2013年度ベストオブスタッフ賞(事務局長賞)

受賞者の声

経理・施設ユニット・サブリーダー 川上 美智留

今年度のベストオブスタッフ賞をいただき、ありがとうございました。業務改善は事務局員皆がそれぞれ努力していることですので、このような賞をいただいて恐縮しています。表からは見えにくい場所ですが、事務局の奥で経理を担当しています。和泉の学生さんたちは、2年間(または3年間)しっかりと学び保育者として巣立っていきます。支援する私たちも負けないう、真摯に学び続けることが大事だと思っています。

昨日より今日、今日より明日、もっと視野を広げ、質の高い支援ができるよう微力ながら努力し続けたいと思います。



2014年度父母会総会

4月1日(火)和泉短期大学入学式後に和泉クラーク・ホールにおいて、2014年度父母会総会が開催されました。

佐藤守男学長の挨拶の後に、父母会長を議長として議事が審議されました。

父母会総会・保証人連絡会後は、学生食堂に場所を移して、ご家族の皆様と教職員との懇親会が行われました。



第4回保証人(家族)連絡会

4月1日(火)、父母会総会の後、第4回保証人(家族)連絡会を開催いたしました。多くのご家族の皆様が参加され、新入生が2年間どのように和泉で学び、学生生活を過ごすのかを教務部長、学生部長よりご連絡させていただきました。



永年勤続表彰(15年)〈教職員〉

4月28日(月)創立記念礼拝後、永年勤続表彰式を行いました。和泉短期大学に15年もしくは30年間勤務した教職員に対し、永年にわたり教学に力を尽くした功労に感謝し、創立記念日(5月15日)に表彰楯、記念品、賞金が贈られます。本年度は、鈴木敏彦教授と櫻井奈津子教授が勤続15年の功績により表彰されました。



櫻井 奈津子教授

永年勤続表彰をありがとうございます。児童養護施設に勤務していた時の同僚には和泉の卒業生が多く、また毎年実習生を受け入れてきたことから、以前から和泉への親近感がありました。施設養護・里親支援に携わってきた私の経験をお伝えしながら、保育者養成に携わる中で、実習で一山越えた学生の姿、卒業生の働く姿が励みとなっています。これまでの皆さんのお支えに感謝しつつ、これからは、よろしく願い致します。



鈴木 敏彦教授

このたび、永年勤続表彰を頂戴したことを大変光栄に思います。教職員の方々、学生の皆さんをはじめ多くの人々のお支えの上に、15年間の自らの歩みがあることを心から感謝申し上げます。とはいえ、私の大学教員としての15年間の成果(教育・研究・社会的活動)を問われると、未熟の誹りは免れません。微力ではありますが、この先も多くの皆様と「ともに学び・生きる」ことを大切に、また本学のスクールモットーである「愛と奉仕」の精神をほんの少しでも体現できるよう、力を尽くしていく所存です。

新入生の言葉



専攻科 介護福祉専攻
富田 さき(神奈川県立大和高等学校出身)

私和泉に入学したいと思った理由の1つが専攻科があるということでした。小さい時からやりたかった保育の仕事と大きくなるにつれて関心が出てきた介護の仕事。その両方を学ぶことが出来るところに魅力を感じました。

入学後は学校での学びに加え、ボランティア活動もしました。2年間の学びや実習、ボランティア活動を通して理想の保育を見つけてことができました。専攻科での学びは始まったばかりですが、様々な経験を通して介護について学び考えていきたいと思っています。



児童福祉学科
森 はるか(神奈川県立上溝南高等学校出身)

私は和泉短期大学に入学し、「はっぴい」や「ボランティア」など、子どもと関わる機会が多くあることを知りました。毎週木曜日には親子開放があり、普段の学校生活の中で子どもと触れ合えるのはとても楽しく、子どもから学ぶことがたくさんあります。

初めは不安だらけだった学校生活も今では毎日学校に行くのが楽しみになり、笑顔で楽しい学校生活を送っています。忙しくてまだまだ不安もありますが、和泉短期大学で多くのことを学び、たくさん子どもたちに希望を与えられる保育者になりたいと思います。



新入生歓迎大会

去る4月3日(木)、新入生歓迎大会を開催しました。新2年生の新入生歓迎大会委員会を中心に検討を重ねたプログラム、全体でのレクリエーションやグループに分かれての昼食会、「カレンダー」作成が行われました。12カ月のカレンダーを全12グループで1カ月ごとに分担し、ちぎり絵で作成しました。新入生と2年生が共同で1つの作品を創り上げていくプログラムは、先輩、後輩、友達の絆を深めるきっかけになり、新入生にとっては「和泉に入学して良かった」と思える1日になりました。



TOPICS 和泉の近況報告

交差点名変更のお知らせ

和泉短期大学近辺の交差点名が「青葉三丁目」から「和泉短大入口」に変更になりました。また、「青葉二丁目」の交差点名も「青葉」に変更になっています。



2012年4月に相模原市中央区役所地域政策課に相談し、2013年2月20日(水)相模原市警察署長宛に「交差点名変更に関する要望書」を近隣自治会である青葉2丁目自治会、青葉3丁目自治会、緑ヶ丘2丁目自治会、そして青葉自治会連合会の4団体と連名で提出し、2014年2月から変更になりました。相模原市に移転して38年になります。今後も和泉短期大学が地域のランドマークとして認識され、また「地域に根ざした短期大学」を目指し、努めて参ります。

ブルーベリー植樹

2014年4月7日(月)に本学「ここにこべじタブルランド」にて、ブルーベリーの植樹が行われました。



ブルーベリーは社会福祉法人相模原市社会福祉事業団の大貫勲理事長より40株が贈呈されたものです。事業団からは宮崎局長、橋本課長、玉井課長、職員、同法人の「松が丘園」に通所している児童15人に参加して頂きました。八木園芸の指導により、全員に楽しく植樹をしていただきました。今後はブルーベリーの成長を見守り、実がなって食べられることを楽しみにしています。

創立58周年記念フェア

5月7日(水)「学校法人和泉短期大学創立58周年」を記念してフェアを行いました。

【フェアの主な内容】

- 学生食堂100円ランチ(タコライス&カレーライス)(150食(くじ引き付))
- コンビニ全品20% OFF! ~お買い物をした人はくじ引き付き
- 自動販売機♪ コカ・コーラ、カルピスソーダ、コーヒーなどが無料!(合計230杯、ペットボトル飲料20円引き)

【学生たちの声】

- 「とても嬉しかったです◎ タコライスとカップのコーラ美味しかったです☆多ありがとうございました!!! わーい♡♡♡」
- 「食事の1時間前から食券を買いに行きました!」
- 「ポスターを見て1週間前から友達と楽しみだね♪と噂していました」
- 「自動販売機の前には学生だらけでした(笑)」

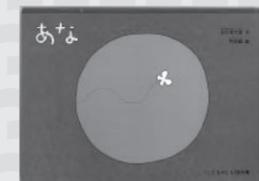
- 「コンビニに行くのが安いで予定より1品多く買ってしまいました!」
- 「ぜひ来年もやってほしいです!」



このように学生たちは58年間の和泉短期大学の伝統の重みを感じながらもフェアを楽しんでいました。おかげさまでどの企画も大好評♪笑顔いっぱい♪売り切れ続出でした。大好評につき、来年度も創立記念フェアを催す予定です。本学及び学生のために創立記念フェアにご協力いただきました協力会社の皆さまに感謝いたします。

図書館から 推薦図書 紹介

『あな』(福音館書店)



何かをするのに理由はいらない。道ばたにある宝物。気になるものを何時間でも見てられる。人の言うことなんか気にしない。生き物をともだちのように思える。ことばは最小限。それが、ちいさいこの特権。この本を読んだとき、忘れていた子どもの頃の気持ちを思い出しました。伝えたい気持ちとともに選り抜いた絵本が、子どもの心の畑に種をまき、いつか芽を吹きます。いい出会いがありますように。

学術情報ユニット 福沢 柚香

第3回 (2014年度)

介護福祉士筆記試験 受験対策講座

受験資格をお持ちの皆さまは是非、この機会に取得しましょう。

日程	時間	科目	講師	
1	9/13(土)	13:00~14:30	ここからだのしくみ	佐久間 志保子
2		14:40~16:10	発達と老化の理解	佐久間 志保子
3	10/18(土)	13:00~14:30	介護の基本	杉山 佳子
4		14:40~16:10	障がいの理解	佐久間 志保子
5		10:40~12:10	①人間の尊厳と自立	山本 正司
6	11/15(土)	13:00~14:30	②社会の理解	鈴木 敏彦
7		14:40~16:10	人間関係とコミュニケーション・コミュニケーション技術・介護過程	山本 正司
8	11/29(土)	13:00~14:30	生活支援技術	佐藤 美紀
9		14:40~16:10	認知症の理解	佐藤 美紀
10	12/13(土)	13:00~15:00	総合問題・受験の心構え	佐久間 志保子

受講料 10講座20,000円
受講許可の決定後に返信はがきで、銀行口座名と納入期日をお知らせいたします。

テキスト 以下のテキストを各自購入し当日持参して下さい。
「介護福祉士受験ワークブック2014(上)(下)中央法規(株)」@2,940×2=5,880円(税込)【昨年度参考費用】

お申込み方法 往復はがきで申し込んでください。
往信面【表】…〒252-5222 相模原市中央区青葉2-2-1
往信面【裏】…下記をご記入ください。
①「介護福祉士筆記試験対策講座受講希望」
②ご自宅の郵便番号 ③ご住所 ④お名前 ⑤勤務先
⑥昼間連絡の取れる電話番号(携帯番号等)
返信面【表】…ご自宅の郵便番号、ご住所、お名前をご記入下さい。
返信面【裏】…何も書かないで下さい。

申込み締切 2014年8月18日(月)必着

定員 60名(先着順で、定員に達し次第締め切ります。)

会場 和泉短期大学 1号館 (相模原市中央区青葉2-2-1)

交通 駐車場完備

※上記講座は相模原市内で介護保険法に基づきサービスを行う法人に勤めている方につきましては、相模原市介護職員等キャリアアップ支援事業補助金の対象となる場合があります。詳細は相模原市ホームページでご確認ください。

2013年度 『教育環境充実資金』募金のお礼

多くの皆様に『教育環境充実資金』募金にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

2013年度の募金につきましては、学生の音楽環境を一層充実させるために、ミュージック・ラボラトリー（音楽電子教育システム）を開設致しました。

2014年度は、『ミュージック・ラボラトリーとピアノの個人レッスン』を組み合わせた器楽（ML・ピアノ）を開講し、学生一人ひとりの習熟度に合わせたきめ細かい授業が行われています。

ここに2年間（2012年度、2013年度）の募金報告をいたします。

- 募金対象事業 ミュージック・ラボラトリー
- 設置費用 19,502,000円
- 募金期間 2012年度、2013年度
- ご寄付者数 2012年度（113件）3,448,000円
2013年度（85件）1,215,000円
- 寄付金総額 4,663,000円



▲電子音楽教育システム（EML）

寄付者一覧（敬称略）〈2014年3月1日～3月31日〉

石川 淳／徳田 留里／土橋 正文／新美 臣江／山下 幸子

2014年度『教育環境充実資金』 募金のお礼

和泉短期大学では、教育の充実を図り、施設維持整備を目的に新入生のご家族、同窓生を対象に『教育環境充実資金』へ募金の協力をお願いしております。任意ではございますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 募金対象事業 施設・教育設備の整備
- 設置費用 5,000,000円
- 募金期間 2014年5月～2015年3月
- 寄付金額 一口5,000円
- 募金担当 和泉短期大学
経理・施設ユニットにお問い合わせください。

寄付者一覧（敬称略）〈2014年5月1日～5月31日〉

荒井 康浩／幾田 佳宏／上田 昭雄／遠藤 雅丈／
大貫 晴久／久保 文男／皿海 信之／品田 文秋／
杉山 裕之／須崎 伸子／関 紀夫／田島 幸治／
田中 弘子／富田 貞夫・さき／永瀬 博／西室 義和／
福地 吉貴／三谷 浩之 以上18名

2014年度 保育士資格取得特例講座

（幼稚園教諭免許状を有する方の保育士資格取得特例に関する科目）

認定こども園法の改正により、新たに創設された「幼保連携型認定こども園」は学校教育と保育を一体的に提供する施設であるため、その職員としては「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許・資格を有する「保育教諭」が位置づけられています。新たな「幼保連携型認定こども園」への円滑な移行を進めるため、改正認定こども園法の施行後5年間は、「幼稚園教諭免許状」または「保育士資格」のいずれかを有すれば、「保育教諭」として勤務できる経過措置が設けられています。

両大学【相模女子大学と和泉短期大学】は「保育教諭」の人材確保の一助となるべく、幼稚園教諭免許状を有する方の保育士資格取得が促進されるよう本講座を開講いたします。

詳しくは本学ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 和泉短期大学 教育学習支援ユニット 042-754-1133

子ども・子育て支援新制度

- ◎保育の量的拡大、質的改善を目的として、2015年度から実施。
- ◎「幼保連携型認定こども園」の普及が図られる。
- ◎多様な保育の確保により、待機児童問題の解消（小規模保育・一時保育等）。

- 幼保連携型認定こども園は、学校教育と保育を一体的に提供するため、配置される職員には保育士資格・幼稚園教諭免許の両方の資格・免許を有する「保育教諭」が位置づけられている。
- 2015（平成27）年度～2019（平成31）年度はいずれか片方があれば保育教諭として勤務できるが、この5年間にもう一方の資格・免許を取得する必要がある。

退任あいさつ

37年間和泉短期大学にお世話になり感謝いたします

経理・施設ユニットサブリーダー 渡辺 角男



私、1976年（昭和51年）10月（後期）より和泉短期大学にお世話になり37年と6ヵ月となりました。和泉短期大学が37年前、相模原の地に移転のときに淵野辺公園は、米軍の無線基地として使用されていました。野ウサギが飛び跳ねている光景をよく目にしました。和泉短期大学が移転する前は、道路が舗装されておらず、また民家も少なく寂しいところでした。交通の弁も悪く、路線バスの本数は少なく、通勤時間帯は1時間に2便、夕方帰宅時間帯に2便、日中の時間帯は1時間に1便しか運行して

いませんでした。当時はスクールバス1台で淵野辺駅より送迎を行っていましたが、学生数が多く学生の要望によりスクールバスの増便について、相模原市内の三菱重工（株）の送迎バスを和泉短期大学の事情を話し、バスを譲り受け相模大野駅の運行ができるようになりました。

また、相模原市に移転した当時は、和泉短期大学の名前を知っていただくために学園祭の時に相模原駅前より相模原市民会館前までスクールバスに飾りつけをして、仮装パレードを行いました。37年間ありがとうございました。

あしかけ5年、お世話になりました

看護師・カウンセラー 坂本 きよか



2010年7月から、保健室で約5年、2011年9月から心とからだの相談室を開設していただき、カウンセラーとして約4年、あっという間に過ぎ去ってしまいました。教職員の皆様に支えていただきながら、それらをエネルギーとして学生のみなさんを支えることができました。私が勤務させていただいた期間、大きな事件・事故もなく過ごすことができたのは、和泉の教職員のみなさまのおかげだと思っています。みなさまとの信頼関係を基盤とした希望を持ち続けることのできる環境を与えていただいた上に、務めさせていただきました。こちらにて奉職の機会をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

最後になりますが、学園のさらなる発展を心からお祈りしつつ学園をあとにしたいと思っています。約5年間、本当にありがとうございました。